

国内唯一のワーキングマザーを対象としたアワード

「ワーママ・オブ・ザ・イヤー2018」受賞者決定！

～ 今年のキーワードは「脱バリキャリア」～

パワーママプロジェクト（<http://powermama.info>）では国内唯一のワーキングマザーに特化したアワードとして、毎年、最も多くの人にパワーと勇気を与えたワーキングマザーを「ワーママ・オブ・ザ・イヤー」として表彰しています。第5回目となる2018年は以下の方が受賞されました。

授賞式には、このアワードを毎年応援してくださっている、サイボウズ株式会社 青野慶久代表取締役社長が駆けつけてくださったほか、野田聖子衆議院議員よりビデオメッセージで祝辞が寄せられました。

「ワーママ・オブ・ザ・イヤー2018」受賞者一覧

- ・南 由香さん/サクソ奏者・ミュージシャン
- ・四宮 零絵さん/株式会社ジョイゾー
- ・原田 晶子さん/株式会社ネクスウェイ 企画職
- ・岩田 かおりさん/（株）ママプロジェクト Japan 代表取締役
- ・池原 真佐子さん/（株）MANABICIA 代表、育キャリアカレッジ Founder
- ・愛 波文さん/ Sleeping Smart®代表

「ワーママ・オブ・ザ・イヤー」に決定しました皆様のコメントを次ページ以降に記載しております。

※ワーママ・オブ・ザ・イヤー選定基準：2017年11月～2018年10月にパワーママプロジェクトHP内に掲載したインタビューのうち、PV数・シェア数などの数値を基に選定しています。

本アワードは、仕事も育児もエンジョイするワーキングマザーのロールモデルを広め、日本経済の活性化に寄与することを目的として、2012年に発足したパワーママプロジェクトが2014年より実施しています。

第5回目となる今年、憧れと共感が集まったのは、「あるべき母親像」の呪縛だけでなく、バリキャリア志向からも解放され、“好きを仕事に”を実現させたママたちでした。内側からあふれ出る純粋な熱量と信念＝「好き」を原動力に突き進む姿が多く、心をつかみました。夫婦のいる世帯のうち共働きが占める割合は48.8%と半数に迫り*1、もはやキャリアか子育てかといった二者択一ではなくなりつつある現在、両立の実現だけでなく、自己実現を目指し、多様な生き方を体現するワーキングマザーに共感が集まっています。

*1 総務省統計局「平成29年就業構造基本調査」

協賛社一覧（順不同）



「ワーママ・オブ・ザ・イヤー2018」受賞者コメント



南 由香さん インタビュー記事 URL : <http://powermama.info/?p=6176>

「素敵な賞をいただき、そして色々な方にご覧いただき、本当にありがとうございます！私自身、tricoloreの関係者の皆様や家族、友人に支えてもらいながら、子育てや仕事をしています。日々、悩むことや不安も正直ありますが、感謝の気持ちを忘れず、これからも自分らしく、ありのままの姿で突っ走っていきたいと思います！」



四宮 琴絵さん インタビュー記事 URL : <http://powermama.info/?p=6248>

「みなさまの応援により、賞をいただけたことに感謝します。働き方の多様化が進み、キャリアを柔軟に選べる時代になってきました。だからこそ、仕事を通じ、私のようなママさんSEが「仕事も育児も楽しんで活躍できる」場を増やし、故郷釧路で活躍する女性も応援したい。家族と会社の仲間と楽しく歩んでいきたいと思います。」



原田 晶子さん インタビュー記事 URL : <http://powermama.info/?p=5817>

「この度は素敵な賞を頂きまして、誠にありがとうございます！この賞をいただけたことを励みに、自分の仕事でもワーママ達を元気にしていけるように微力ながら頑張っていきたいと思います！」



岩田 かおりさん インタビュー記事 URL : <http://powermama.info/?p=6074>

「この度は素敵な賞をありがとうございます！専業主婦、派遣、パートという働き方で3人の子育て時期を歩んだ16年間。目の前に現れる事には誠実に取り組む事、出逢いを大切にする事を続けていたら、今年会社設立しました。人生100年時代だからこそ「人はいつからでもスタートできる！」を多くの方に届けたいと思っています。」



池原 真佐子さん インタビュー記事 URL : <http://powermama.info/?p=5776>

「2年半のワンオペ育児を経て、ドイツと日本の2拠点生活をスタートしたタイミングで、この様な素晴らしい賞にノミネート頂いたことは嬉しく思います。「ママ」「社会人」である前に、いつも「私」は何者か？を問いながら、常識にとらわれず、前に進んでいきたいと思っています。」



愛波 文さん インタビュー記事 URL : <http://powermama.info/?p=5799>

「素敵な賞をありがとうございます！記事を読んでもらった多くの方々、パワーママプロジェクトの皆様感謝の気持ちでいっぱいです。長男が生まれて育児に悩んだきっかけではじめた乳幼児睡眠コンサルタントの仕事。1人でも多くのママが自分も大切にしながら、ハッピーな育児ができるように今後も精進していきたいと思っています。」



授賞式当日の様子

【これまでの受賞者傾向】

2014年 ハイキャリア

医師、税理士、議員、大企業管理職など、一般的にハイキャリアとされる方に憧れが集まりました。

2015年 「等身大」を求めて多様化

プライベートの時間を大事にするために、大企業からベンチャー企業へ時短勤務のまま転職した方や、フリーランスとしてマイペースに仕事されている方など、無理せず自分らしく働く姿に多くの共感が集まりました。

2016年 フリーランス・パラレルキャリア

これまでのキャリアで築いた専門性とネットワークを活かした働き方を実践するママに注目が集まりました。

2017年 ミレニアル、100年時代

いわゆるミレニアル世代ママが増えたこと、また100年時代を見据えて転職や起業・自身への投資など軽やかに変容・進化するママが多くみられました。

■パワーママプロジェクトとは

ワーママのロールモデルの不在やネガティブイメージの払しょくという課題の解決に向けて、「パワーママ＝周りにパワーを与えられるワーママ」のロールモデルをシェアすることで、より自分らしく Happy に仕事と育児ができる ワーママを増やし、日本経済に貢献することを目的として活動する任意団体です。2012年7月に別々の企業で働くワーママ4名で活動を開始。2017年11月にはペアレンティングアワード2017コト部門を受賞しました。

■パワーママプロジェクト主な活動内容

・ワーママへのインタビューと発信

他業界多職種、また働き方も様々なワーキングマザーのインタビューをウェブサイト (<http://powermama.info>) に掲載しています。

・勉強会、ネットワーキングイベントの開催

朝食会「パワーママ morning」では、出勤前に一緒に朝食を食べながら情報のシェアを行い、夜のイベント「パワーママ night」ではゲストを招いてのトークセッションなども実施しています。

・イベントへの登壇

昨年6月に開催された内閣府主催の「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」をはじめ、多数のイベント・セミナーにお声がけいただき、コアメンバーが登壇しています。

・書籍の出版

今年4月に初の書籍となる「ワーママ5年目に読む本（光文社）」を出版しました。

■パワーママプロジェクト共同代表

椿 奈緒子、柴田 広夢、高村 奈津子、千田 絵美

*詳しくはこちらをご覧ください。 http://powermama.info/?page_id=1546

《パワーママプロジェクトへの取材に関するお問い合わせはこちらまで》

Email: powermamapress@gmail.com